

憩いのパークの魅力

ほたるの里とアジサイ



◀ 幻想的な明かりを放つホタル

爽やかな5月は終わり、ネーブルパークではショウブからアジサイの季節へと移り変わろうとしています。この時期、ネーブルパークほたるの里では、ホタルが暗闇をほのかに照らす明かりとなって空を舞っています。

平成16年に作られた「ほたるの里」では、ほたるの里友の会が中心になってホタルを育てています。種類はゲンジボタル、大きく強い光が特徴です。今でこそ、元気に飛び回っているホタルですが、それまでは、試行錯誤と苦労の連続だったと聞いています。

作られた当時、ホタルに合う水を探しあてることが重要でした。十数メートルの井戸を掘りましたが、鉄分の混じった赤い水が出てきてしまい失敗でした。

次に100メートル以上掘り、やっとホタルの好きな「甘い水」が出たそうです。他にも井戸水を引き上げるポンプが

故障し、せせらぎの水が干上がってホタルの幼虫が死にかけたり、幼虫がザリガニに食べられてしまうため定期的に駆除を行ったり……。

そして昨年、ほたるの里では護岸の改修を行い、ザリガニが住みにくいせせらぎにし、今年の春には、せせらぎの辺りにアジサイを植え、同じ季節に楽しめるようにしました。

今年も6月3日に「第14回ほたるまつり」が開かれます。ホタルは6月半ばまで鑑賞できます。ホタルの神秘的な明かりを楽しみに来ませんか。日中は彩り豊かなアジサイも楽しめますよ。

※ホタル鑑賞時間は午後9時まで。ホタルは強い光を嫌います。ハンドライトを当てたり、フラッシュを焚いたりするのは厳禁です。

【問】ネーブルパーク管理事務所 ☎92-8752



表紙写真



古河城の出城界限に位置する古くからある建物で、国の登録有形文化財に指定されている「お休み処 坂長」。石畳の道路を和服で歩く姿を見ると、昔にタイムスリップしたような感覚になりますね。

雪華文様がかわいらしい古河ブランドの「こがのかさ」も和服に合わせるといつもと違う雰囲気です。

ジメジメとした梅雨でも、こんなおしゃれをして出かけると、晴れやかな気分になりますね。



寄付



株式会社渡辺興産より、防災施策への活用として18万円の寄付。

古河市データ

人口

(5月1日現在) 住民基本台帳から
総人口 144,197人 (+11)
男 72,670人 (+83)
女 71,527人 (-72)
世帯数 60,063世帯 (+225)
() 内は前月比